

第6学年1組 学級活動指導案

1. 日時・場所 平成27年7月8日(水) 13時30分～ 6年1組教室

2. 議題 「クラス全員で6・1スイッチ集会をしよう」

学級目標

個性を認め合って 心を一つに

笑顔あふれる

思い出いっぱい 6年1組

3. 議題について

(1) 児童の実態

第6学年1組は、35名の学級である。児童はとても優しく、素直で明るい子が多い。4月の学級目標を決める際には、全員の思いを共有するために、まずは小グループで伝え合い、まとめた内容を発表し話し合っただけで決めた。前回の学級会では、「6・1スイッチ集会をしよう」という議題で話し合った。これは、テレビ番組の「ピタゴラススイッチ」に出てくる装置に似たものをみんなで作って絆を深めたいという児童の提案を受けた学級会である。

事前の活動では、計画委員と仕掛けをどのようなメンバー構成で作るのかをあらかじめ決めることにした。運動会前ということもあり、全員で何かを作るのが難しいということで、班ごとに仕掛けを作ることにし、本時の活動ではどのような仕掛けを作るかを話し合うことにした。

学級会当日、集める段階で、積極的に発言する数名の意見で行き詰った。自分の考えに自信がもてなかったり、率先して発言することが苦手だったりする児童がいるからである。そのとき司会グループは「近くの人と相談してください。」と投げかけた。普段の授業では担任が近くの人と相談する機会を設けている。友だちに話を聞いてもらい安心感や自信を得ることにより発言につながるが多々あるからだ。その経験を通し、司会グループが自ら考え、学級会でも同様に相談タイムを設け、なるべく多くの意見が取り上げられるようにしたのである。少人数になることで自分の考えを伝えることができ、全体の場での話し合いでも活発に話す様子が見られた。さらに、仕掛けについての説明が難しいと感じた児童が「黒板に書いて説明していいですか？」と言う場面もあり、思いを伝えるために一生懸命な姿があった。また、児童も真剣なまなざしで聞き、自分たちで学級会を作っていくという意識が高まっているように見えた。

各班でどのような仕掛けがよいのかを決定し、その後の休み時間を使って作成した。試行錯誤を重ねていくうちに、一緒に悩んだり喜んだりする場面が増え、わくわくした気持ちで集会を迎えている様子が見られた。集会では、各班の仕掛けを全員で見守り、うまくいく場面や途中で止まってしまう場面も含め、一緒に喜んだり悔しがったりすることができ、一体感が生まれていた。その中で、「全部成功させたい！」という思いが生まれていた。

(2) 議題選定の理由

6月8日(月)に行った「6・1スイッチ集会」でのふり返りでは、多くの児童が「成功できなかったけど、班のメンバーとの絆を深めることができた。」「次こそ成功させたい。」という思いをもっていることがわかった。それを受けて、「班のメンバーとの絆は深まったから、今度はクラス全員の絆が深まる6・1スイッチにしたい。」という提案が児童からあがった。

今回はさらに、前回の失敗の経験を活かした挑戦であり、全員でかかわり合う仕掛けを考えることでクラス全体の絆を深めることができると考えたため、本議題を選定した。

4. 評価規準

集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
学級や学校の生活の充実と向上にかかわる問題に関心を持ち、他の児童と協力して自主的に集団活動に取り組もうとしている。	楽しく豊かな学級や学校の生活をつくるために話し合い、自己の役割や責任、集団としてのよりよい方法などについて考え、判断し、信頼し支え合って実践している。	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活をつくることの意義や、学級集団としての意見をまとめる話し合い活動の効率的な進め方などについて理解している。

5. 活動の実際

(1) 事前の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
7月2日(木) 中休み	計画委員と担任で議題の選定をし、学級会のめあてを決め、役割分担をする。	○提案者が提案理由を明確にもつことで、学級会に向けて思いを語れるようにする。 ○安心して進められるよう、役割を確認し、学級会の進め方の見通しがもてるようにする。 ☆学級会に向けて進んで準備をしている。 (集団活動や生活への関心・意欲・態度)
7月3日(金) 朝の時間	議題と提案理由、話し合いの柱を学級に伝える。 計画委員が議題に対して意見を集める。	○提案者の思いをうけ、自分自身のめあてをもち、主体的に取り組めるようにする。 ○話し合いの柱を確認し、一人ひとりが自分の考えをもてるようにする。 ☆提案理由とめあてを意識した意見を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
7月6日(月) 中休み	司会グループで学級会の流れを話し合う。 役割分担に従って話し合いの進め方を確認する。	○学級会の想定できる場面について、どのように進めたらよいか考えられるように必要な助言をする。 ☆担任とともに、学級会の進め方を考えている。 (集団の一員としての思考・判断・実践)

(2) 本時の活動

- ① ねらい 全員の絆が深まる6・1スイッチを考える。
- ② 教師の指導計画

児童の活動	評価(☆)と支援(○)
<p>1. はじめの言葉</p> <p>2. 司会グループの紹介</p> <p>3. 議題、提案の理由、話し合いのめあての確認</p> <p>議題「クラス全員で6・1スイッチ集会をしよう」</p> <p>提案理由前回の集会で取り組んだ6・1スイッチでは、班で仕掛けを作り、絆を深めることができた。次はみんなとかかわり合うことで絆を深めることができる6・1スイッチを提案したい。また、前回の集会のみんなの笑顔がよかったから、全員での絆と笑顔をまたつくりたい。</p> <p>めあて全員の絆が深まる6・1スイッチを考えよう。</p> <p>4. 決まっていることの確認</p> <p>決まっていること</p> <ul style="list-style-type: none">・仕掛けは1つ。作成は休み時間に行う。・仕掛けからゴールまでをつなぐ役目を全員で行う。・材料は学校にあるものを使う。・7月16日(木)5時間目の学活・場所は体育館・準備時間15分。本番15分。ふり返り10分。 <p>5. 話し合い</p> <p>柱1全員がかかわり合うつなぎは、どのようなものがいいか。</p> <ul style="list-style-type: none">① 意見を集める② 聞き合う③ まとめる <p>柱2役割分担をする。</p> <ul style="list-style-type: none">① 意見を集める② 聞き合う③ 役割を決める	<p>○見通しをもって会を進められるように、学級会の流れを事前に確認する。</p> <p>○自分の考えに自信がもてるよう、司会の投げかけと児童との話し合う様子を見守りながら助言する。</p> <p>☆司会グループとしての役割、集団の一員としての役割を果たしている。</p> <p>(集団活動や生活への関心・意欲・態度)</p> <p>○話し合いがそれた場合、めあてに沿った話し合いができるよう助言する。</p> <p>○司会が進め方につまずいているときは、助言しながら進める。</p> <p>☆友だちの意見を認めたり、うなずいたり聞いたりしている。</p> <p>(集団の一員としての思考・判断・実践)</p> <p>○前回の集会のとき、見えにくかった点を思い起こすために声をかける。</p>

6. 決まったことの確認	
7. ふり返り	○自分の思いと、クラスみんなの思いがどのように交流できたかをふり返る。
	☆みんなで話し合っって決めることのよさについて理解している。
	(集団活動や生活についての知識・理解)
8. 先生の話	○お互いの考えをくみ取りながら話合いを進められた場面などを取り上げながら、実践への意欲付けを行う。
9. 終わりの言葉	

(3) 事後の活動

活動の場	活動内容	評価(☆)と支援(○)
7月9日(木) ～15日(水) 朝の時間 休み時間	分担を決め、作業を進める。 ・プログラム ・言葉 ・司会	○決まった担当と進捗状況を確認できるよう作業計画を掲示する。 ○帰りの会「6年絆組」にて、よかったことを発表する。 ☆学級の一員として自己の役割を意識し、助け合っって準備している。 (集団の一員としての思考・判断・実践)
7月16日(木) 5時間目 体育館	・集会活動をする。 ・実践をふり返り、感想を交流する。	○全員で取り組むことのよさを実感できるよう、よかった言動について確認をする。 ☆話合いで決めた内容を理解し、友だちと協力して取り組んでいる。 (集団の一員としての思考・判断・実践)